

地域だより いしばし

第30号 2021年3月

石橋地域コミュニティ推進協議会

挨拶



会長・松井好一朗

令和2年度はコロナ禍の真っ只中で活動を自粛せざるを得ず、市実施事業（納涼大会・住民運動会）及び地域実施事業（三世代交流／ナイトフェスティバル・公園内芝生植え付け）を中止致しました。

ようやくワクチンの治療薬が承認され新型コロナウイルス感染症の世界的な流行の終息の兆しも見えてきて期待が高まって来ています。

令和3年度の事業も各部会から提案されましたが、コロナ禍によって市の税収入が落ち込み、例年の半分程度の予算額で対応せねばならなくなり、新規事業はごく少なく継続事業が大半を占める事になりました。

行政機関からは民意の反映も求められており、これからは各種団体の方々から、また個人の方からのご希望やご意見も汲み上げて行けば、民意の要望として組み込めるのではと期待しております。

石橋地域コミュニティ推進協議会に対しまして、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

特集

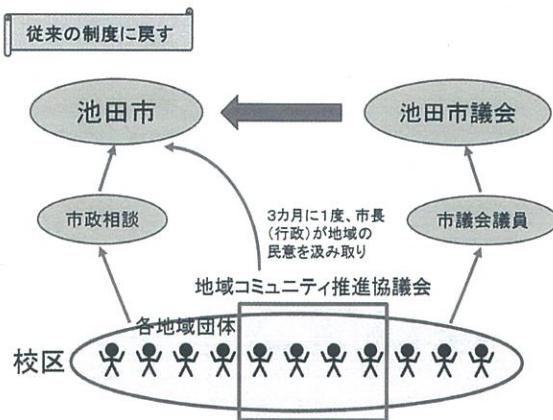
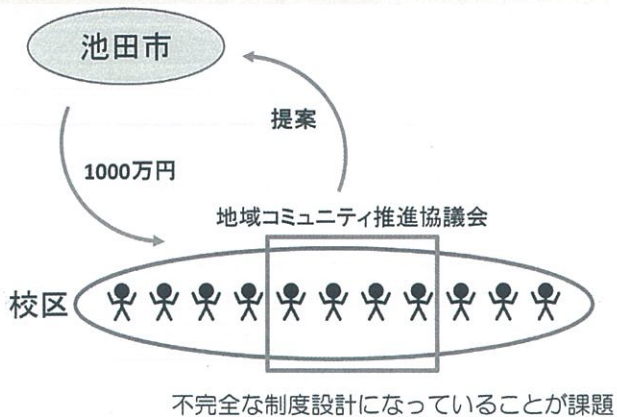
現状の地域分権制度の抜本の見直し案の概略

第1回目
報告

参考資料：2020.9.17 地区長会議時資料

新型コロナウイルス感染症の影響で池田市の地域分権制度の全ての見直し作業が遅れていましたが、ようやく概略がまとまりましたので第1回目の報告といたします。

見直し前後の地域コミュニティ推進協議会



見直し前 現状から令和5年度までの体制（2024年3月まで）

見直し後 令和6年度からの新体制（2024年4月より）

1 地域コミュニティの地域分権制度の抜本の見直しの理由

現状の地域分権制度は制度設計に欠陥があり問題（不完全な制度設計）である。

- ① 税の再分配に公平性が担保されていない。
- ② 地域コミュニティ推進協議会の意見は、校区の民意となっていない。
- ③ 現状の予算提案権は、予算執行における目的があいまいである。
- ④ 予算規模としては大きすぎ、持続可能とは言えない。

2 見直しの結論と方向性

民意を反映しながら市の施策浸透をはかる。

- ① 地域コミュニティ推進協議会の機能を強化し、従来の制度に戻す。
- ② 民意の汲み取りとコミュニティ推進を、さらに図れる体制に強化する。

3 新体制の概要

民意の汲み取りとコミュニティ推進をさらに強化する。
そのための拠点も強化する。

① 民意の汲み取り

市長（行政）が3ヶ月に1回、地域コミュニティ会議（仮称・地区会議）に参加、（民意の汲み取りと市政浸透に）市の関りを強化する。

② コミュニティの推進

コミュニティ推進協議会へ参加者や団体のさらなる参加を促す（市が積極的に関与）。

団体…会館運営委員会、地域の各種団体、民生委員、児童委員、地区福祉委員、学校、園、PTA、自主防災組織、自治会、町会、地域の企業、等
参加者…市民、地域で働く者、学ぶ者、等

防災・防犯の体制及び共助の仕組みの強化を行う。（地域の安全）

4 新体制の具体案

① 地域コミュニティ組織の活性化

多くの団体が参加し、民意を反映しながら協力する組織とする。

② 仮称・地区会議

民意を汲み取り市政の報告と浸透を図る会議とする。

③ 地域コミュニティ推進協議会と市政との関係

市と地域コミュニティは仮称・地区会議で協議し、強化した共同利用施設はコミュニティ、防災、防犯の拠点となり地域の諸活動を支える。

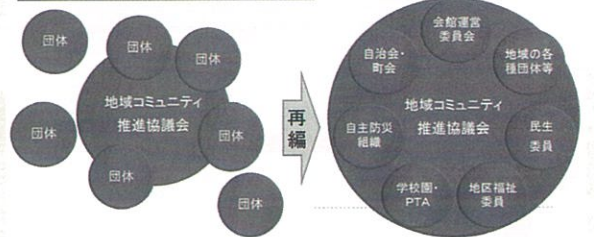
① 地域コミュニティ組織の活性化

目指す組織は

- ・ 地域住民がもっと参加する
- ・ 団体同士がもっとつながる
- ・ 地域と行政がもっとつながる

再編に向けた取り組み

- ・ 地域内の各種団体が垣根を越えて協力関係が築けるよう、行政が調整に動く。
- ・ NPO等が地域と協力関係が築ける施策を推進する。



② (仮称) 地区会議

(仮称)地区会議

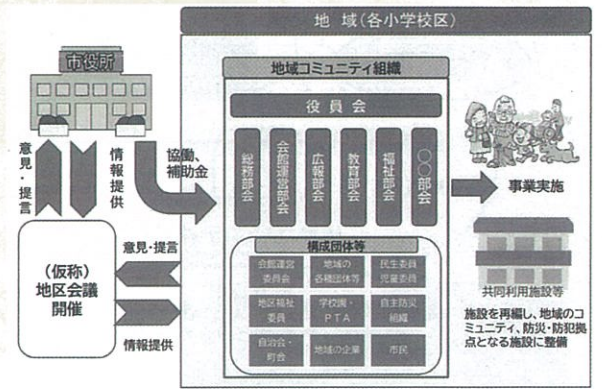
- ・ 幅広い地域住民のニーズを汲み上げるため、各小学校区で開催する。
- ・ 3カ月に一度の開催を予定。
- ・ 各地域にお住まいの市民、その地域内で働く者及び学ぶ者、市長、市職員等が参加。

会議の構成：

- 1部 市政報告
- 2部 危機管理情報提供並びに自主防災組織等との意見交換
- 3部 地域コミュニティ組織の役員等との意見交換
- 4部 ワークショップ、質疑応答等

動画配信、テレビ会議による参加

③ 地域コミュニティ推進協議会と市政との関係



5 現状の石橋地域コミュニティ推進協議会の見直し

現状の石橋地域コミュニティ推進協議会の実施内容が、市の見直し理由に該当しているかどうか（民意及び税の公平性、予算の目的）、検証する必要があります。

現在の地域コミュニティ推進協議会は、令和5年度までに市も積極的に関与して見直され新しい石橋地域コミュニティ推進協議会に生まれ変わります。見直し後の令和6年度からは新しい石橋地域コミュニティ推進協議会の要望に加え、さらに多くのルートで民意の要望が市に

集中します。当然、市において多くの民意の要望の整理や選択を行い、市の施策を加味した判断が出されることになり、市の地域コミュニティ推進に果たす役割は主導的で重要なものとなります。

石橋地域内の皆様におかれましては、令和6年度から実施される仮称・地区会議に積極的に参加していただき、市と新しい石橋地域コミュニティ推進協議会とで、より住みやすい地域づくりの取組みにご協力をお願いいたします。

コロナ禍の防災訓練

安全部会 上原部長

令和2年11月27日(金)
 午前10時50分～午前11時30分 石橋小学校体育館
 午後1時30分～午後2時50分 石橋中学校体育館

今回の防災訓練は新型コロナウイルス感染症防止の観点から学校関係者のみを対象とし、午前の部：石橋小学校、午後の部：石橋中学校の2部構成に分け、縮小して実施しました。全員マスクを着用し、各体育館の入り口で手指を消毒しました。まず、西岡自主防災会会長から防災訓練の意義の話があり、地震のメカニズム、東日本震災時の津波に関するビデオを鑑賞しました。また、池田市危機管理課の指導のもと、タイムライン、避難所でのコロナ対策用資材(簡易間仕切り、簡易組み立てベッド)の説明があり、組立体験を行いました。『自らの命は自ら守る』ことが防災行動の基本であることを再認識出来ました。



体育館入口手指消毒

石橋小学校体育館 午前の部



体育館集合



タイムライン説明



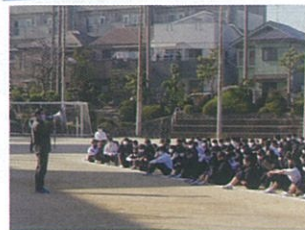
ビデオ鑑賞



・簡易間仕切り組立
 ・簡易ベッド組立



石橋中学校体育館 午後の部



校庭集合



簡易ベッド組立



簡易間仕切り組立



簡易間仕切り完成



掲示板修理の状況

広報部会 阿部部長

掲示板は石橋地域コミュニティ内に28台あります。長年の利用で劣化が目立ってきたため修理を行いました。掲示板の材質をマグネット対応に変更し防水対策を行いました。掲示物はピン留めの必要がなくなり、容易に多くの掲示物を掲示できるようになりました。なお、掲示物は地域の公益性の高い活動について掲示を行います。掲示のご希望等は当協議会へご連絡ください。内容を確認し掲示をさせていただきます。



修理前



修理後

- ・防水対策(シール済み)
- ・マグネット対応



池田市地域分権 石橋地域コミュニティ推進協議会

修理後マグネット対応

- ・各種マグネット使用可能
- ・容易に多数の掲示可能

**こども見守り会と
キッズランド放課後
居場所作り**
交流部会 松本部長

「石橋小学校子ども見守り会」は、子どもの安全、安心のための活動を行っています。特に交通安全のため校区内7地点の交差点に約80名の会員が、登校時に赤いユニホームを着用、子ども達を安全に誘導し見守りを行っています。

「キッズランド放課後居場所作り」では、子ども達が自由に考え、また自由に遊ぶ様子を見守っています。こうした活動を通して、子ども達はのびのびと明るく楽しく、前向きに成長します。しかし、今年度はコロナ禍の影響で活動ができませんでした。

誰もが子ども見守り会やキッズランドに参加し、協力することができます。私たちと一緒に子ども見守り活動やキッズランドに参加しませんか。参加をお待ちしています。なお、今期、子ども見守り会とキッズランドのユニホーム等を追加で購入しました。



赤いユニホーム等



子ども見守り
井口堂交差点



青いユニホーム



放課後の活動 石橋小学校

ペットボトルキャップの今期の回収状況

阪上 副会長

今年度は、学校や公共施設などがコロナ禍のため休校や閉館となり、回収量が全体的に減りました。回収箱は地域の会館、敬老会館や各高齢施設、保育園、小・中学校などに設置しています。

回収後のペットボトルキャップは加工され、公園や小学校の花の鉢等にに使わせて頂いています。「捨てたらゴミ、回収したら資源！」引き続き、ご協力を宜しくお願いいたします。



平成30年度 547.5 Kg
令和元年度 669.6 Kg
令和2年度 361.5 Kg
(令和2年11月現在)



「石橋」のいわれ

石橋の名前のいわれは、以前に発行された小冊子で能勢街道と西国街道の交差点に石の橋がかかっており、これが石橋と言われるようになったとのことでした。その石橋の大きな石(岩?)が石橋南小学校・正門のすぐ右側の校庭内に保存されています。



石橋の石の保存 →
(歩道から裏面が見えます。石橋南小学校・正門右)



石橋の場所 →

参照：小冊子(2014年3月発行)
(みんなが住んでるいしばしのことをもっと知ってもらいたくてつくった本)

説明文(「石橋」のいわれ石)

この石は石橋駅南の最初の踏切を通る旧西国街道と旧能勢街道が交差する西側の小川にかかっていた石の橋で、明治40(1907)年ごろまでは幅2間(約3.6m)長さ1間の一枚岩でした。現在の「石橋」という地名はこの石の橋からおこったと言われています。 — 以下省略 —

